

水の都記念病院における看護職員負担軽減計画

現状・問題点	対応方針	具体的な計画	達成状況		備考
			令和7年2月	令和7年6月	
看護師が不足しており、多忙になっている。	看護師の採用に当たっては、看護師が不足している問題について院内で検討し、具体的な改善策を講じる。	○ハローワーク・看護協会への求人、また新卒者に対し大学及び看護専門学校への求人を積極的に行う。	○		
職員の勤務時間は各部署の責任者が管理課に申告する。	勤務時間を客観的に把握し、特に勤務状況が過酷な看護師については、看護補助者の配置を手厚くし、看護職員との役割分担の見直しを強化するなど、柔軟な対応により具体的な負担軽減案を実施する。	○紹介会社へ求人も積極的におこなう。 ○過度な業務とならないように看護補助者の配置を行い、時間外の勤務時間を極力少なくする。	○		
院内保育園における看護師の子供の受け入れが進んでいない。院内保育園の受け入れ時間が日勤帯のみ。	院内保育園における看護師の子供の受け入れを促進する。受け入れ時間を準夜帯にも広げる。	○看護師の子供の受け入れを推進する。 ○残業の為に、夕方に子供を迎えにいけない看護師のために、保育時間を準夜帯まで延長する。	△		
入院患者への薬物療法について、服用方法や安全性についての医師、看護師が説明を行っており、他の業務の妨げになっている。しっかりとした服薬指導を行うには、時間も知識も必要になるため、患者様へ十分な服薬指導を行っているかどうかの懸念もある。	病棟勤務薬剤師による患者様への薬剤の説明、服薬指導を行い、勤務医・看護師の業務負担を減らす。病棟勤務等の負担軽減及び薬物療法の有効性・安全性の向上に努める。	○1病棟に1人、週20時間以上薬剤師を勤務させ、患者様への服薬指導を実施する。他スタッフとの連携や情報交換等を行う必要があるため、入院時には、持参薬の有無、薬剤名、規格、財形を確認し、服薬計画を書面で医師に提案すると共に写しを診療録に添付する。 ○注射薬と内服薬を併用する場合には、投薬前にそれらの相互作用に有無を確認する。特に安全管理が必要な医薬品の説明を投薬前に行う場合には、病棟専任の薬剤師が行う。	○		